

# みづき

大垣女子短期大学通信

mizuki

Spring  
2011

No.26 春

## CONTENTS

CLOSE UP .....	1	学科だより .....	4	研究室から .....	10
巻頭言「植物を見て」.....	1	CLUB ACTIVITIES .....	6	新聞掲載記事拝見♪ .....	11
本学の現状と課題.....	2	学友会だより .....	8	イロイロありました…この15年 .....	16
本学の初年次教育について .....	3	大垣女子短期大学での思い出 .....	9	社会人基礎力育成グランプリに参加し、得たもの	
教育GPの取組を振り返って .....	3	Information .....	10		16

**CLOSE UP 「GPフォーラム」開催  
本学の取組を社会に発信**

12月4日(土)に「GP(質の高い大学教育推進プログラム)フォーラム」を本学で開催しました。日本私立短期大学協会の佐藤会長から短期大学の将来についてお話を伺った後、全学科の学生・教員が取組の概要や具体的な内容、その成果を発表しました。地元岐阜県をはじめ、関東・北陸などからもあわせて100名近くの方が参加して下さり、本学での取組方法や内容、学生の発表のようすなどに、貴重なご提言やアドバイスをいただきました。(関連記事P3)



**CLOSE UP 音楽総合科 森田千穂さん  
日本クラシック音楽  
コンクールで第3位**

12月7日、第20回日本クラシック音楽コンクール(日本音楽クラシック協会主催)の全国大会が東京杉並公会堂で開催されました。本学からは音楽総合科ウインドアンサンブルコース2年生の森田千穂さんが、大学の部「金管楽器部門」にユーフォニアムの演奏で出場し、第3位に入賞しました。

大学3年生4年生も出場するコンクールの場で、第1位、第2位の該当者なしでの第3位。出場者のなかでは実質トップの成績での入賞でした。今後ますますの活躍を期待しています。



**卷頭言 植物を見て**

B号館音楽棟の学生ロッカーの上には植物が飾ってある。冬に花を咲かせる植物だが、学生ロッカーに近い研究室へと移動してから、水やりが私の日課の一つとなり、花が咲く冬を待ち遠しく感じていた。春・夏・秋とつぼみの一つもつけず、まるで私と植物の我慢比べのようであったが、冬になると小さなつぼみをつけ、それがみると見る間に大きくなり、見事に花を咲かせた時には、非常に嬉しく、感動したことを覚えている。人は、植物に癒されるとよく言うが、それはなぜなのだろうと思ったことがある。植物は語りかけても優しく言葉を返してくれるわけではないのに…。しかし植物の、根をしっかりと土に張り、環境に適応

しながら健気に立っている姿や、アスファルトの間からでさえも芽を出す姿、鮮やかな花を咲かせる姿は、やはり私達に勇気や感動、そして癒しを与えてくれる。

私達人類の祖先はサルの祖先と共に通じ、更に祖先をたどると鳥や恐竜の仲間の祖先とも繋がっている。そして30数億年前にさかのぼれば、それら動物の祖先は植物の祖先とも繋がっている。現在この地球には130万種余りの生物がいるそうであるが、これら全てが一つの祖先から時代とともに枝分かれてきており、もとは小さな細胞だった生物から、遺伝子の変化によって様々な植物や動物が生まれたのである。地球上に住む生物は全て

音楽総合科 准教授 傍島 香織

遺伝子で繋がっていると言えるのではないだろうか。植物に癒しや感動を感じたりするのも、人間とは違う生物ではあるが、もしかしたら遺伝子レベルで結び付いているために共感する部分があるからなのかもしれない。力強く根を張り、希望に満ちた芽を出し、太陽の光や二酸化炭素や水分を吸収して自ら生きるために栄養を作り、華やかに花を咲かせる姿は、ともに生きるものとして見習いたいものであり、また、人に癒しや力を与えられるような人間を目指していくこと、愛情を込めて育てることの大切さをあらためて教えてもらつているような気がするのである。

# 本学の現状と課題

理事長・学長 中野 哲

近年の日本の社会は少子高齢化社会、長引く経済不況、政治の混亂など様々な要因で混迷を深め、大学をめぐる環境も著しく変貌をしてきている。生徒は選ばなければどこかの大学・短大に入学できる、いわゆる全入時代になっている。このような時代背景のもと、文部科学省は大学・短期大学など高等教育機関の教育内容や各種情報をガラス張りにすることを求める、この4月から実施のはじめになつてゐる。今や、受験生は自分の将来を考えるような教育が受けられるのかを真剣に検討し、そのうえで大学・短大を選ぶ時代になったのである。高い偏差値の大学を出れば就職ができるという安易な社会ではなくなってきたのである。

さて、本学は本年開学41年目を迎え、今や卒業生は全国各地に2万数千人に達している。現存の4学科のなかで、幼児教育科と歯科衛生科の教育課程は3年制度を取り入れている。

子どもの生育環境が複雑多様化している昨今、多くの短期大学が2年間の教育課程を編成しているなか、本学**幼児教育科**は数年前から3年制の教育課程を取り入れている。授業や課外活動において4科の交流を推し進め、学生は楽しく幅広い人間性を体得するようになっている。**大垣市との包括協定**を結んだ後の、市との連携による月2回の子育てサロンは定着し、年1度のこども祭もすでに7回目を終え、教員、学生の全学科を挙げての取り組みは地域社会への子どもの教育に大きく貢献している。この子育てに関する取組は文部科学省から高い評価を受け3年前には**教育GP(Good Practice)**の指定を受けている。

全国に先駆けて3年制度にした**歯科衛生科**では口腔は全身の一部であるとの観点から内科学、外科学などの臨床医学や高齢者に対応できる老年病学を授業に取り入れ、幅広い医学領域の幅広い教育で、口腔ケアの専門家を養成し、卒業生は従来のように歯科医院で働くのみでなく、公的総合病院や行政機関に就職できるように、4つのコースが設けられている。



フランスから留学生を受け入れたデザイン美術科



こども祭で地域貢献する歯科衛生科



街角コンサートで地域貢献する音楽総合科

**音楽総合科**はウインドアンサンブルコースの学生の活躍が目立つが、音楽療法コースでは地道な研究活動が行われ、ピアノ・電子オルガンコースの学生の活躍も地域社会において積極的に活動を展開している。なお、昨年から日本で初めてリペアコースを立ち上げ、全国から学生が集まりこれからの活躍が期待されている。

**デザイン美術科**は日本で最初のマンガコースができたこともあって、プロの漫画家として活躍する卒業生は20人を超え、昨年秋からフランスパリの専門学校から10人の留学生が入り、マンガを学びながら日本文化に触れるなど国際色豊かになってきている。

本学では自然豊かなクリーンなキャンパスを整備し、学生たちの笑顔が溢れて、ユニークな4つの学科の交流にも力を入れ、本学が目標とする「**自律性を持った品性のある女性**」が育っている。人はこの世に生を享けるが、環境によってその後の人生は変わる。学校というのは、本人ですら気付いていない遺伝子を開花させるようにすべきである。

われわれは素晴らしい環境で若い女性が精一杯その能力が發揮できる環境を準備し、今後も**地域における知の拠点**として頼れる存在であり続けていきたい。

なお、私はこの3月より法人の理事長に就任致しました。厳しい社会や教育の環境のなか、41年の歴史を誇る本学がますます発展していくために、学生、保護者また同窓会の皆様とも手を携えながら、全力を投じていく覚悟であります。

なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。



こども祭で地域貢献する幼児教育科

## 本学の初年次教育について

総合教育センター長 矢田貝 真一

現在、「初年次教育」が多くの大学で行われるようになってきました。この初年次教育は、1970年代のアメリカでFirst-Year Experienceすなわち「初年次経験」としてさかんになり、やがてわが国でも1990年代から導入することが考えられ始めました。

初年次教育とは、「新入生が大学教育にスムーズに移行して学習や人間的な成長をうまくしていくための総合的な教育プログラム」であり、新入生が大学生になることを支援するものということができます。これについては、平成20年の文部科学省中央教育審議会答申でも教育課程に位置づける重要性が指摘されていますが、実施状況や内容は各大学で異なっているのが実態です。

これまで本学でも、入学時の「オリエンテーション」やFSC(ファースト・ステップ・キャンパス)、それぞれの授業などをとおして、新入



生へのさまざまな教育や支援が行われてきました。しかし平成22年度は、教養科目である「総合教養演習」の中の授業の一つとして、全学科学生に対して共通する内容を総合教育センターが行いました。

授業として4月下旬に行なった「初年次教育」では、新入生が高等教育を受ける学生として学習に取り組んでいくようにすることを第一のねらいとして、次の内容を実施しました。

### ①短期大学における学び

生徒と学生のちがい:高校と大学のちがい

教養教育と専門教育:本学での教育の説明

シラバスと単位制:シラバスの大切さと単位認定の説明

大学で使われる用語:教務や授業などの言葉の説明

授業で学ぶ姿勢:主体的に取り組む大切さ

キャリア教育と学生支援:キャリア形成や日常生活面のサポート

時間管理の方法:長期・短期計画の大切さと具体的方法

原稿用紙の書き方:基本的なルールの説明と演習

### ②学び方の理解

原稿用紙の書き方:作文の相互点検

ノートの取り方:具体的な方法と考え方

レポートの書き方:具体的な方法と作成時の資料収集

受講した学生による実施後の感想や意見などを総合すると、目標とした理解はおおむね得られたと判断されますが、この取組をふまえてそれぞれの授業や行事、学生支援で一層の理解や定着を図っていくことも積極的に進めています。そして23年度以降も「総合教養演習」で行なう初年次教育だけでなく、学生の状況や要望に即しながら、さまざまな教育活動を結びつけた総合的な初年次教育づくりをめざして努力していきたいと考えております。

## 教育GPの取組を振り返って

総合教育センター 教育GP専門部会長 准教授 茂木 七香

本学では、平成20年度から平成22年度までの3年間、全学を挙げて「地域の子育て施策を活用した教育方法の改善～大垣市との連携による子育てサロンの運営を通じた体験学習～」に取り組んできました。この取組は、文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」の1つとして、全国の大学・短期大学・高等専門学校からの申請より選定されたものです。学生たちの活動の場として、学内では、従来からの行事「みづき祭」「こども祭(旧:幼児教育祭)」などの他、平成20年6月に大垣市との連携により学内に子育てサロン「ぶつぶつあ」が開設されました。月2回のサロンの運営補助(幼児教育科)や、専門科目での学習成果発表(全学科)を行う機会を継続的に持ちました。また、学外行事としては、地域のお祭りやイベントへの参加、小学生向けの各種教室の開催など様々な場面を経験しました。どの学科の学生も、これまでに短大の中で学習し身に付けた知識や技能をもとに幅広い年代の子どもや保護者と関わる、というこれらの経験を通して、自分自身の学びの成果を実感したり、新たな問題点や今後さらに探求すべき学習課題を見つけることができました。また、教員にとっても、学生の現場での実践の様子やその振り返りでの姿を見ることは、今後の教育内容を検討しより良いものにするための貴重な機会となりました。

昨年12月4日(土)にはこの取組のまとめである「GPフォーラム」を本学で開催し、全学科の学生・教員が取組の概要や具体的な内容、

その成果を発表しました。地元岐阜県を始め、関東・北陸など遠方からもあわせて100名近くの方が参加して下さり、本学での取組方法や内容、学生の発表のようすなどに貴重なご提言やアドバイスをいただきました。教育GPとしての取組は平成22年度で終了しましたが、これからも、この3年間の取組での成果や課題を踏まえて、全学科の学生が学内外の子育て施策の活用でより良い学びを得ることができるよう、活動を継続していきたいと思います。



日本私立短期大学協会 佐藤弘毅会長



## 幼稚教育科

### プラス1年でさらに充実した学びを

近年の社会情勢の急激な変化にともない、子どもの育ちの環境も大きく変わり、保育者の養成課程である幼稚教育科もその社会的使命が大きく重要な意味になってきています。

本学の幼稚教育科はこのような中、豊かな教養と専門的能力を有する人材育成のため3年制の教育課程で一人ひとりの学生の確実な学びの集積を図っています。6月には「大垣女子短期大学第3回学術シンポジウム・子育て支援を考える」や12月の「教育GPフォーラム」の中で、本学が開設する子育てサロン「ぶつぶつあ」や子育て支援演習で培ったその学びの成果の発表を行いました。また、本年は経済産業省が主催する「社会人基礎力育成グランプリ2011中部地区大会」に出場し、授業での実務研修やトークスタディを通して社会人基礎力が如何に育成されたかを発表し、奨励賞を受賞しました。これらの成果は勿論のことですが、FSCから始まり、みづき祭、幼稚教育合宿、卒業研究発表会、第7回を迎えた「こども祭」にとつながり、学生たちは自らの成長を確認し、本学科の3年間で学ぶ意義を感じ取ってくれたものだと思います。

今後も何を目指し、どう学ぶのかを明確にし、幼稚教育科の教員一同はさらなる教育の充実に日々精魂こめ、「保育のスペシャリスト」となる教育を推し進めています。

### 1. 保育所保育実習、幼稚園教育実習

9月6日から17日、1年生は初めての保育所保育実習、2年生は幼稚園教育実習に出かけました。

### 2. 幼児教育科合宿(合歓の郷)

9月21日、22日、幼児教育科全員が参加して、三重県志摩半島 合歓の郷にて合宿を行いました。両日とも晴天に恵まれ、1日目は子ども研究、保育技術演習、卒業研究の発表を行い、2日目にはそれぞれが美しい合歓の郷の自然を楽しみました。

### 3. 子育て支援演習(子育て支援の現場を経験)

10月7日から12回にわたり、3年生が子育て支援演習の授業で、市内の子育てサロンとアクアワールド大垣内子ども図書館で子育て支援の現場に参加させて頂きました。子育て中の保護者や子どもたちと直接触れ合うことは学ぶことが多い、貴重な体験となりました。

### 4. 児童虐待防止キャンペーン (オレンジリボンたすきリレー)

11月14日、本学を中継点として行われた児童虐待防止キャンペーンたすきリレーに太鼓演奏や接待などで協力しました。また幼稚教育科学生2名がランナーとして参加しました。

### 5. 総合教養演習「郷土を知る」

11月17日、1年生が総合教養演習の授業で「おいしい大垣ぶらりウォーク通行手形」を利用して、大垣市内のおもてなし協力店や大垣城、郷土館、守屋多々志美術館など市内を散策しました。今年初めての試みでしたが、意外に知らない地元のことを楽しみながら知ることができたと好評でした。

### 6. 子育てサロン「ぶつぶつあ」クリスマス会

12月16日、子育てサロン「ぶつぶつあ」のクリスマス会で3年生が「ハンドベル演奏」「エプロンシアター」「サンタクロースとのダンス」などを行い、参加していた子どもたちと一緒にひと時を過ごしました。

### 7. 卒業研究発表会

12月17日、平成22年度 幼児教育科卒業研究発表会を行いました。1・2・3年生全員の出席のもと、3年生の各ゼミから選ばれた5組が、これまで取り組んできた卒業研究の成果を発表しました。発表後の質疑応答では、1・2年生から内容について鋭い質問が出されるなど、活気があり、充実した発表会となりました。

### 8. 地域のクリスマス会に ボランティアで活躍

**サンタさん登場!** 12月25日、神戸町立図書館で開かれたクリスマス会に2年生が参加しました。手遊び、絵本、折り紙などで参加した地域の子どもたちとクリスマスを楽しみました。

### 9. 第7回こども祭

1月23日、幼児教育科を中心となってこども祭を開催しました。こども祭も今年で7回目となり、地域の人たちの冬の楽しみとして定着してきました。今年は大垣桜高等学校、大垣養老高等学校の高校生にも参加していただきました。今回も親子連れなどたくさんの方々が参加していただき、盛大に行うことができました。

## 音楽総合科

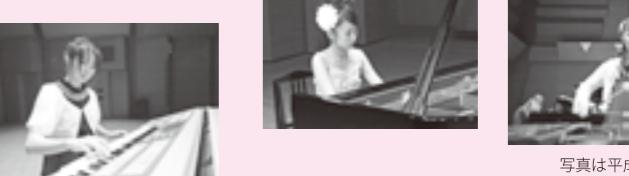
音楽総合科はかねてより学外における演奏や発表、実習の機会を多く設けていましたが、今年度はこれまでの西濃地域にとどまらず、国際的に活動が広がりました。9月末にウインドアンサンブルコースは中国江西省宣春学院大学に学生、研究生9名が赴き、演奏と指導を行ってきました。言葉の通じない外国での音楽による交流は、参加した学生たちにとって刺激的であったと思います。また、本学学生が指導実習の中で吹奏楽部の指導を行っていた大垣日大高校がセンバツ出場を果たしたため、学生たちが甲子園に楽器を持って駆けつけて共に応援したことでもよい経験となりました。

全国に例のないリペアコースの学生たちも、専門であるリペア演習に加えて、自分たちが吹奏楽を演奏する機会が多く多忙ですが、充実した学生生活を送っています。

ピアノ・電子オルガンコースは地域に積極的に出かけて演奏活動を広げています。大垣駅前のアクアワールド大垣にも年数回演奏を行っています。買い物に来たお客様に演奏後に声をかけていただくこともあり、本学のアピールにつながっていると思います。

音楽療法コースはアメリカから来日していたアラン・ウィットンバーグ氏を招き特別講義を開催しました。海外の音楽療法に直に触れる機会となり、外国との相違点や共通点など、新しい視点で自分たちの学びを振り返る機会になりました。

こちらから積極的に外出かけること、また、外からの知識を取り入れることで学生たちの学びへの意欲が高まると考えています。今後も4コースがそれぞれ専門性と就職への意欲を高めるために、こういった外部との関わりを持ちたいと思っています。



写真は平成22年度 卒業演奏会



## 歯科衛生科

平成22年度より全国的に歯科衛生士養成が3年以上の教育年限になりましたが、いち早く3年制度を導入した本学科では、この春で3年制度7回目の卒業生を輩出します。今後は歯科衛生士1年生として、おおいに歯科医療・保健・福祉のさまざまな分野で活躍してほしいと思っています。

2年生は臨床・臨地実習に出るにあたり、昨秋の「決意を語る会」で一人ひとりその意気込みを自らの言葉で力強く表し、「臨床・臨地実習報告会」では先輩から厳しくも親身なアドバイスを受け、現在元気に実習に取り組んでおります。

1年生は昨春の入学以来、学内での授業や行事にも熱心に取り組んでおり、ユニフォーム姿も似合うようになり、この1年で頗もしく成長したように思います。この学年から臨床・臨地実習で初めて「専修クラス」を立ち上げ、より専門性の高い歯科衛生士の育成を目指しています。

歯科衛生士はいろんな職種の方と連携して仕事をするケースが増えており、コミュニケーション能力が益々求められています。この目に見えない能力を身につけるのは大変ですが、まずは教員と学生が真剣に向かい、時には本音でぶつかりあって手応えを感じていくものと思います。それだけに、今の時代の教員は精神的タフさもおおいに必要と考えています。

今年度も何卒、卒業生・在学生・新入生へのご支援と我々教員へのご指導をよろしくお願い申し上げます。

### 1. 卒業研究発表会

平成22年10月7日(木)

3年生の中から、卒業研究にチャレンジした学生の研究成果の発表がありました。発表後、同級生や後輩、先生方からの質問にも落ち着いて答え、さすが3年生の風格を感じさせてくれました。

### 2. 学外実習報告会

平成22年11月18日(木)

学外での臨床・臨地実習を終えた3年生から、臨床・臨地実習開始間近の2年生へ、各実習施設で自分達が経験してきたことを詳細に伝え、学外における実習では「笑顔」が一番と後輩にホールドを送りました。

### 3. 決意を語る会

平成22年11月24日(水)

学内外の列席者多数の中、学外での臨床・臨地実習に臨む決意を2年生一人ひとりが自分の言葉で表明しました。ご列席いただいた方々からの訓示や祝辞の言葉を胸に刻み、日々努力することを誓った2年生でした。

### 4. 臨床・臨地実習開始

平成22年11月29日(月)

### 5. マナー講座

平成22年12月1日(水)

1年生(洋食のマナー)  
平成22年12月6日(月)  
3年生(和食のマナー)

### 6. 第20回歯科衛生士国家試験

平成23年2月27日(日)

愛知県名城大学  
合格発表  
平成23年3月28日(月)

## デザイン美術科

9月は民宿に一泊二日で三重県の大王崎へスケッチ旅行と、恒例となった在京出版社へのマンガ原稿持ち込みツアーの「学外研修」を実施し、10月10日大垣十万石祭り参加、23日みづき祭開催と、学内外で賑わいました。また、CBCテレビ「坂東リサーチ」の番組収録(11月25日放映)を受け、学生が来校したタレント3人の「似顔絵」を描くという撮影では教室中に歓声が満ちました。

11月よりフランス・ユーラジアム校から女性7名、(特例として)男性3名、計10名の学生がマンガ科目受講を主とした後期科目履修生として授業に参加し、学校に今までにない趣が加わりました。フランス人科目履修生と共に『三尾公三展』(岐阜県美術館)の観賞、彦根城、長浜市街散策と、深秋にかけて行事が続きました。

2月10日から4日間、在学時の集大成となる力作の披露であり、学科の最大イベントとなる「第39回卒業記念展」は、例年ですと県美術館開催のところを今回は学内での学科同窓会開催(200人を超す参加者!)にあわせて大垣市文化会館を会場としました。

3年前から各地でマンガ・デッサンの実技講習会を開催しています。3月26日に学内で開始し、出前授業と称して27日米原市、29日浜松市で開く予定です。この時期、今後も開催を予定しています。卒業後でも、機会があったら是非会場を覗いて下さい。

2011年春は、学科開設40周年となります。積み重ねられた時間は何にも代えがたい財産です。しかしこの不況の折、「美術」分野には特に厳しい風が吹いています。だからこそ今、美術を目指す人の心意気は純粋で真意あるものだと思います。



### デビュー紹介

佐々木彩乃(H17年度卒)

- Cheese!増刊号2009年11月増刊号『キミのとなりにはあたし』でデビュー
- Cheese!増刊号2011年3月号『イジワルな告白』掲載中
- 小学館フラワーコミックス『うそつきなスキ』単行本刊行(2011.2.25)



### 本人コメント

デビュー作受賞時は、夢のようで、ただ嬉しかったです。今後も地道に、でも長く、描き続けていきたいです。

### 卒業生の活躍

学生名	卒業年度	内 容	時 期
穂渡 千晶	H12年度卒	月刊コミックブレイド『CRY-EYE』連載開始	2010.2
浅野 直美	H21年度卒	愛知県介護福祉士会キャラクターデザイン	2010
市江 彩華	H20年度卒	ミレージャギャラリーグループ展 東京都中央区銀座	2010.8
佐藤 里奈 松尾 優	H21年度卒	中日新聞4コマ漫画『それゆけみすきちゃん』	2010.10~
森 春菜 近藤由香里 加納麻由香	H18年度卒	グループ展 名古屋市民ギャラリー	2010.11
勝山あゆみ	H7年度卒	個展「不思議の国のあぐ作品展VI」 名古屋市アートグラフ	2010.12-2011.2

# CLUB ACTIVITIES



新しい「自分」の発見。仲間との出会い!  
入りたいクラブがあればすぐ連絡してみてね!  
分からなければ学生支援課へたずねてみよう!

練習日 活動場所

## 新しい自分を 発見したい!

### 山歩き会

運動が苦手でも楽しく自然を満喫できます。「歩く」ことがメインなので、体力に自信がなくても大丈夫です。自然派あつまれ!

● 幼児教育科  
太田 純り(情報文化専門学校)  
週1/木 場: D305



### 地域歴史文化探訪会

歴史好きな人が集まっているので話しやすい場です。興味がある人、覗いてみたい人、もちろん大好きな人気軽にきてください。

● デザイン美術科  
齊藤 舞(揖斐高校)  
月1回 場: 西濃地区

### 写真



個々で撮影した写真を持ち寄り鑑賞会をします。年2回撮影旅行へ行ったり、写真展も行っています。和気あいあいと楽しく行っています。写真を撮るのが好きな子集まれ!!

● 幼児教育科  
大濱 あす香(栗東高校／滋賀)  
週1/木 場: A305



## さわやかな汗を 流したい!

### 体爽部

自由な部活です! 体操に興味ある方、集まれ!!

● 歯科衛生科  
松永 真由香(大垣商業高校)  
週1/金 場: 体育館2階



### 剣道部

剣道好きあつまれ!!  
● デザイン美術科  
井口 瞳(名古屋市立北高校)  
週1/金 場: 体育館2階



### トライアスロン

ややこしいことは一切ありません!みんなで楽しく体を動かしています。楽しくマラソン大会にも出場しています。親睦のため?の反省会は必ずしています。

● 幼児教育科  
宇野 有紀(富田高校)  
場: 各種場所

### バドミントン

先輩と後輩関係なく、すごく仲が良いです☆  
休日にコーチに来ていただいて楽しく練習しています!初心者の方も経験者の方も歓迎です!!!興味のある子は是非バドサーカルへ☆



## 部員募集中!!

### コンテンツ産業部

就職氷河期の昨今、自分のなりたい職業について語り合ってきました。今は企業用に自分の作品をまとめたり、仲間とともに絵を描きあったりと、モチベーションをあげています。夢を叶えたい!って子はぜひひどうそ!!



### 手話

講師の方をお招きし、手話で挨拶から自己紹介、日常会話を練習します。  
自分の名前を手話で紹介できるとうれしいよ。

週1/木  
場: カフェテリア

### 世界文化研究部

自分の好きな国を楽しく研究できるクラブです。みんな仲良く楽しいクラブなので、ともだちつくりたい子にも!!

週1/水  
場: みづき会館

## 音楽で癒されたい!

### 軽音部

年に数回のランチタイムコンサートと、みづき祭で行うライブを目標に毎週練習しています。初心者も経験者も大歓迎!!皆で楽しくやりましょう!!

● デザイン美術科  
高桑 舞(南砺総合高等学校)

週1/水 場: F201

### Song & Song

カラオケに行ったり、好きな曲を歌ったりしています。みんな仲良しで先輩もとても優しいです。歌が好きな人やピアノが弾ける人大歓迎です♪

● 音楽総合科  
石森 律子(滋賀県立愛知高等学校)

週1/火 場: F101

### ピアノ・エレクトーンアンサンブル

音楽が好きで、特にピアノ・エレクトーンが好きな人にピッタリのサークルですよ♪一人で弾くのも良いですが、誰かと一緒に演奏する楽しさも知ることができます。合わせることで相手から色々な事を学んだり、とても充実しています!ゆかいな仲間たちと楽ししくアンサンブルしましょう!!

● 音楽総合科  
左高 和貴子(加納高校)

週1/水 場: B302

### ボカロ部

作詞・作曲をしたり、その曲をボーカロイドという音楽ソフトに歌わせたり、動画を作ったりします。

● 幼児教育科  
澤田 千晶(長浜北高校)

週1/月 場: B404

### ジャズサークル

コンサート等に向けて練習しています。音楽を楽しく演奏したい人、楽器をもっとうまくなりたい人、初心者の人大歓迎!!

● デザイン美術科  
矢澤 早苗(飯田長姫高校)

週1/木 場: B401

## もくもくとマイペースに…

### 演劇部

明るく元気で楽しい部活です!おもしろい先輩がたくさんいます!!是非演劇部に!

● 幼児教育科  
柳元 未来(滋賀県立愛知高等学校)

週1/火 場: みづきホール

### 茶道部

お茶とお菓子をいただきながら、お点前のけいこなどをしています。

● 歯科衛生科  
西松 美紅(大垣商業高校)

週1/木 場: 和室

### パソコン部

1人人が自分勝手に好きなペースでやってあります。パソコンが苦手な人でも友達とともにやることで、だんだん上手になっていきます。ギャラリーの展示やみづき祭では作品をグッズにして販売もします。一緒に作品づくりしませんか?

● デザイン美術科  
近藤 佑子(光が丘女子高校)

週1/火 場: D305

### 漫画研究部

たくさんの仲間と楽しみながらイラストや漫画を描き、お互いに評価し合っています。みんな仲が良くて、わいわいと楽しめます。楽しく絵が描きたい子はおいで~!

● デザイン美術科  
辻 あすみ(武義高校)



### 児童文化

イベントでは「アンパンマンショー」などを行っています。バイトしながらでもできる!!週1回でみんな仲良く楽しゅやっていまーす。

● 幼児教育科  
仲田 紗織(飛騨神岡高校)

週1/水 場: 体育館2階

### V.G.トライアングル

月に一度の音楽活動で、施設利用者さんの笑顔を見ると私たちもいっぱい笑顔になれます♪一緒に楽しみましょう★

● 音楽総合科  
加藤 有紗(武義高校)

週1/土 場: 友和苑

### aim

自然とリラックスできる空間で、基本は「友人とおしゃべりしながら作品をしあげていく」というクラブです。プロを目指している人は是非!

● デザイン美術科  
橋口 麻利(起工業高校)

週1/火 場: D201



## プロの道を極めたい!

### ウインドアンサンブル

吹奏楽が大好きな沢山の仲間と一緒に楽しく活動しています。

● 音楽総合科  
池本 梨紗(浜松海の星高校)

週1/月 場: B101

週1/月 場: B101

# 学友会 だより

私たち学友会役員は学友会であるみんなのリーダーとして、行事等運営をしていきます。先輩、後輩、他学科との交流を大切に有意義な学生生活にしていきましょう。



## 学友会活動

2009

### 12月 学科交流会「縄跳び大会」

グループに分かれ、「8の字跳び」や「大縄跳び」の跳んだ回数を競い合いました。最初の企画でとても不安でしたが、どのようにしたら平等に競い合えるか、スムーズに進むかなどを考え、楽しい交流会となりました。

2010

### 4月 FSC(ファーストステップキャンパス)

新入生を迎え、クラブ紹介と学友会からの紹介をしました。クラブ紹介では、クラブ部員がコメントでの紹介だけでなく、実演をしたり作品を見せたりといろいろな形で紹介をしました。学友会からは早く学生生活に慣れてもらうために、学内施設や先生の紹介のビデオレターを作成しました。

2010

### 10月 十万石まつりに参加

音楽総合科のウインドアンサンブルコースのみんなの演奏が、私達の神輿を盛り上げてくれました!!!

2010

### 12月 留学生との交流会兼先輩方を送る会

フランスから来た留学生10名と、カレーライスやたこ焼き、クレープなどをみんなで手作りし、会話を楽しみました。

2010年10月 みづき祭 テーマ「POP☆STAR」

幼稚教育科……手作りの迷路コーナーなどの遊び場  
デザイン美術科…55枚の絵を一枚の巨大壁画に!  
音楽総合科……マラソンコンサート  
歯科衛生科……フッ化物塗布

みづき祭は私たちの活動の集大成!「一人ひとりがはじけて輝けるように!」という思いで運営をしました。情宣・ゲート・舞台など担当を決め、一年生の協力委員や、みづき祭スタッフと一緒に企画していました。当日は多数の来場者にお越し頂き、無事に成功することができました。



## 2010年学友会活動、がんばりました!

### 薔薇を贈る想い

入学時には「淡いピンクの薔薇」、卒業式には「深紅の薔薇」をいただきますよね。この薔薇の意味を、みなさんは知っていますか? 私たちは大垣女子短期大学に入學し、知識や技術を身に付け、様々な経験をしてきました。夢の実現に向かってたくさんの努力を積み重ね、色濃く、深く成長して卒業していく私たちの姿を、ピンクから深紅に染まった薔薇の色に例えて、先生が贈ってくださるのであります。

2011年会長 井口瞳作画



## 新学友会役員紹介

任期 平成22年12月1日より平成23年11月30日

書記  
王森 智恵美  
監査  
井上 瑞紀  
委員  
梅田 美幸  
副会長  
松崎 江美

会長  
幼稚教育科  
白井 菜々  
会計  
歯科衛生科  
多賀 春那  
副会長  
デザイン美術科  
古川 仁子  
監査  
音楽総合科  
矢野 麻沙美  
書記  
音楽総合科  
古川 仁子

監査  
歯科衛生科  
西山 麻有  
書記  
音楽総合科  
中島 瑞美

監査  
デザイン美術科  
馬渕 麻美  
会長  
歯科衛生科  
井口 瞳  
委員  
音楽総合科  
矢井 里奈

監査  
歯科衛生科  
平塚 理恵  
書記  
音楽総合科  
安田 育恵  
監査  
歯科衛生科  
福田 真希  
書記  
音楽総合科  
中島 瑞美

2010年  
2011年

## 幼児教育科

### 日々成長

#### 大上 真依

平成22年3月卒業  
ナーサリールーム  
ベリーべー東雲勤務



私は現在保育園で3歳児クラスを担当しています。認可保育園ですが、園庭がなくビルの中という環境です。でも毎日子ども達と楽しく過ごし、日々一緒に成長しています。

保育の職を目指したのは、昔から小さい子の面倒を見るのが好きだったので、保育士である母の存在があったからです。

大学に入学した頃、実習後、現在とでは、正直理想と現実の違いに戸惑い、悩む事が多いです。「本当にこの仕事が自分に合ってるの?」と思う事もよくあります。しかし、悩んでいても保育園へ行くと「先生!」と言ってくれる可愛い子ども達がいて「今日も頑張ろう!」という気持ちになります。

社会に出てから困らないためにも、学生時代から先生や実習園の先生から様々な話を聞いたり、ボランティアに積極的に参加していった方が、勉強になり自分の糧になると思います。

私が実習した園で担当の先生に「保育士が子ども達に教える事より、私達が子ども達に教わる事の方が多い」と言われた事があります。何気なく子ども達と生活している中で、子ども達の成長に気付くことはもちろん、自分の成長に気付くこともたくさんあります。

実際は辛い事の方が多いですが、子どもの成長を間近で見られ、こんなにやりがいのある仕事はないと思います。挫折しそうになった時は、学生時代の友達や先生に相談しながら、負けないで頑張って下さい。

## 歯科衛生科

### これからの目標

#### 鶴岡 綾菜

平成22年3月卒業  
山口歯科医院勤務



皆さんはどんな歯科衛生士になりたいですか?

私は子どもの頃から、歯科医院がとても大好きな場所で、その空間で働きたいと思っていました。

大垣女子短大に入学し、知識的にも技術的にもいろんなことを学ぶにつれ、子どもから高齢者の方や全身疾患を持つ方の口腔ケアをしたい!!口腔内から全身の健康管理までできるような歯科衛生士になりたいと思っていました。今でも、その気持ちはありません。

しかし、実際昨年3月から歯科衛生士として勤務していますが、患者様から「看護師さん!」と呼ばれることがあります。社会的には、歯科衛生士という職業の知名度が低いのが現状です。

私は、歯科衛生士というステキな職業を広め、知名度を高められる人材になりたいと思っています。そのためにも、勉強会や研修会に参加してスキルアップを目指しています。

皆さん、これから勉強、実習、国家試験…とても忙しく、厳しい時もありますが、どんな時も友達と助け合い楽しい学生生活を送ってほしいと思います。

そして、皆さんと働ける日を楽しみにしています。

## 大垣女子短期大学での思い出

## 音楽総合科

### 大学生活を通して

#### 宇野 彩加

平成22年3月卒業  
株式会社栄堂楽器勤務



私は現在、松栄堂楽器で音楽教室の受付を担当しています。受講生の方の受付、教材などの受け渡し、電話対応など、接客の仕事が中心なのでコミュニケーションを大切にし、信頼関係が築けるよう日々努力しています。

大学生活では、専門的な音楽知識や技術を身に付けることができる環境があり、先生方の叱咤激励を受け、成長することができたのではないかと思います。自分のやる気を出して演奏会に出演させていただいたらしながら、経験を積むことができました。

年に一度の定期演奏会や2年時に行われる卒業演奏会に出演できることで一番心に残っています。卒業後もGによって組織される「ロンドブリランテ」に所属し、恩師や先輩と交流する機会があり、とても楽しく過ごしています。

今思えばあつという間の2年間でした。クラスの仲間を大切にし、お互い支え合い、刺激し合いながら友だちとの思い出をたくさん作って下さい。

## デザイン美術科

### 自分に合った仕事

#### 高尾 瞳

平成22年3月卒業  
株式会社テックカリヤ勤務



大垣女子短大で在学中、私は総合デザインコースの造形専攻でした。立体で作品が出来上がっていくのは面白かったです、先生にアドバイスしてもらったり、友達に支えられながら作品を完成させる事ができて嬉しかったです。

細かい仕事や、体を動かす作業などは自分に合っている職業だと思います。

現在私は、車に使う部品のメッシュに異常がないかを検査する仕事をしています。今の会社を知ったのは、地元の就職ガイダンスでした。会社に勤めて、もうすぐ1年経とうとしています。環境にもだいぶ慣れ、仕事のスピードも上がってきました。残業や土曜出勤もあり、顕微鏡を使う仕事なので目が疲れたりと大変ですが、自分に合っていると思える仕事ができるのは嬉しいです。

皆さんは、今出来ることを一生懸命やり遂げて下さい。きっと就職活動や今後の人生に役立つと思います。





新聞揭載記事拝見♪

## 新聞に掲載された本学の記事・本学のスナップ



私人留学生 市長を訪問

大姉女短で漫画、文化学。3

パリのビジネススクール  
学校の男女計十人、  
この複数家庭を構成する  
同大のデザイン系学生  
で、十一月から来日し、  
二ヶ月まで漫画の技術  
日本文化を学んでいた。  
将来、広報やマーケッ  
タリングで漫画の活用  
を目的としている。

平成22年12月18日 由日新聞



平成22年11月3日 中日新聞



平成22年12月7日 中日新聞



平成23年1月25日 岐阜新聞



漫画留学のフランス専門学校生

### 県内で感性磨く

「日仏文化の融合」を



平成23年1月19日 読売新聞



平成23年1月28日 桤島新聞



大垣市西之川町、大垣女子短期大学のフランス人留学生が25日、関ヶ原町を訪れ、史跡や資料館などを巡って、歴史の日に思いをはせた。



## 戦国ロマンを 仏留学生体感



平成23年2月15日 岐阜新聞

ンケート調査で  
に回答する（クレ  
トローナー）もあ



平成23年2月12日 由日新聞



平成23年2月4日 岐阜新聞



# イロイロありました…この15年



ひょんなことから、大垣女子短期大学にお世話になって15年、長かったような短かったような…確かに平成8年辺りがスタートだったかなあ、と思い出しながら日記を探しページをめくってみると、4月9日(火)非常勤講師の顔合わせの会に出席していました。そして、「4月12日(金)から、いよいよ本格的に授業が始まると、些か気負いの感じられる筆致で書かれてありました。

「ストーリーマンガ」を授業に取り入れたのは、多分全国でも本学が初めてだと思っていますが、もともとマンガは教えるもの教えられるものと言うことでは無く、自分でいろいろと思い悩みながら描いたり、アシスタントをしながら先生の技術を盗み見て自分のものにするといった事と考えていたので、本当に当初は手探り状態のスタートでした。

教える方の自信の無さに比べて、当時教室に集まつて来た学生達の目の輝きや意気込みは、圧倒されるものがありました。

やっと、自分たちの学びの場所が出来た、という喜びに満ちあふれています。

その期待に応えようと、力が入りすぎ、時には空回りをしながら、少しづつでも前進できたのか、そのうち本当に全国各地から北は北海道、南は沖縄県からも学生がこの大垣の地を目指して来るようになりました。

さて、15年も経つと、雑誌に作品が載るとか連載を持つとかプロ作家デビューする卒業生も増え、中には在学中に連載を持つ学生も出たり、また10年近く経つ連載にたどり着く人もあり、今のところ30人前後がプロの世界で活躍するという状況は、嬉しいと共に誇らしくもあります。

これから先も大垣女子短期大学が、デザイン美術科が、マンガコースがずっと続いてくれることを切に願って、筆を置くことにします。

本当に長い間のお付き合い、有難う御座いました!



## 「社会人基礎力育成グランプリに参加し得たもの」

幼児教育科 教授 西川 正晃

社会人基礎力育成グランプリ…。聞き慣れないことばですが、これは、日本のすべての大学で学ぶ学生達に、社会が求める力が確実に育っているかを競う大会なのです。

幼児教育科では、三年制をとっています。三年次に行う「実務研修」という保育現場での経験が、単に経験として終わらず、大学での様々な科目と連動し、大学での学びと往還する学びのスタイルをデザインしているのが三年制の特徴といえます。この往還の中で培ったものの一つに社会人基礎力があるのです。こうした学びを経験した3年生21名がこの大会に臨みました。

地区予選での結果は奨励賞でした。学生達の学びが確かに社会人としての基礎力を育んでいると認めていただいた結果もあります。しかし、学生達が得たものはそれだけではありません。社会人基礎力育成グランプリに出場するために向き合った厳しい時間や、大会当日の異様な緊張感などを乗り越えていった経験は、それ以降の学生生活で

の一人ひとりの言動や態度が変容してきたのです。学生の一人がこのようなことを呟いていました。

「現在すごく幸せ!胸を張って言える。すでに一生分の幸せを使いつてしまっているのではないかと思うくらいに。それほど充実していた三年間。この出会いは一生大切にしたい。どうかこれからも繋がっていてください。私の願い。」

自信に満ちた姿、未来を見据えて今を力強く生きる歩み…すべてが自分らしく輝き出しました。さらに、これまでの三年間を振り返り、こうして育ってきた自分を肯定的に認め、大学生活での自分探しの旅に満足感を得る経験でした。



## フランスからの留学生 頑張りました

本年度後期にパリのユーラジアム校から、マンガと日本文化を学ぶ目的で留学生10名を受け入れました。デザイン美術科で半年間にわたり、マンガやCGの科目に取り組みました。また、「白川郷」「関の刃物会館」「関ヶ原古戦場」などを訪問し、日本の文化を積極的に学んでいました。本国に帰った後も本学での思い出を胸に、グローバルな舞台で活躍してほしいと思います。



## 小さな発見

### ひと足早い、 春の知らせ♪



学内を流れる川の土手に、いくつもの『寒水仙』の花が咲いていました。やや寒いこの時期に白い花を咲かせ、ひと足早く春の訪れを感じさせてくれます。

**大垣女子短期大学** 〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 TEL.(0584) 81-6811(代) FAX.(0584) 81-6818 <http://www.ogaki-tandai.ac.jp>  
Ogaki Women's College 【学科構成】幼児教育科・デザイン美術科・音楽総合科・歯科衛生科



◆(財)短期大学基準協会による第三者評価が始まった初年度の平成17年度、全ての評価領域において「適格」認定。



◆平成19年度、全ての校舎、耐震補強完了。



◆平成14年度から学内外全面禁煙。



平成20年度 文部科学省 教育GP  
◆大垣女子短期大学の教育活動が平成20年度文部科学省選定の「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に選ばれました。

◆大垣女子短期大学の子育て施策を活用した教育方法の改善

大垣女子短期大学通信  
**みづき** 2011春号 No.26

発行日／平成23年3月10日  
編集／広報委員会  
発行／大垣女子短期大学  
E-mail tosho@ogaki-tandai.ac.jp